

第 7 7 回議会力向上会議記録（抄）

（7. 6. 19）

一、正副座長について

冒頭、当会議の座長に議会運営委員会委員長の宮本恵子議員が、副座長に議会運営委員会副委員長
の湊上猛志議員が就任する旨の報告があった。

一、協議事項について

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

（別紙各資料参照）

1. 議会力向上会議ワーキンググループについて

協議に先立ち、座長より、次のとおり説明及び提案があった。

【座長の説明及び提案】

○様々な案件の具体的運用の協議や意見のとりまとめを、迅速、かつ柔軟に行うため、昨年度と同
様にワーキンググループを1つ設置する。

【協議結果】

本件については、座長の提案のとおり「議会力向上会議ワーキンググループ」を1つ設置するこ
ととし、必要に応じて会議を開催することとなった。また、宮本恵子座長より、案件に応じ座長も
適宜ワーキンググループに出席するものとし、意見を取りまとめる旨の発言があった。

- ・とりまとめ：湊上猛志副座長
- ・会議：非公開
- ・ワーキンググループ構成議員

大阪維新の会堺市議会議員団	中 野 貴 文
公明党堺市議団	小 野 伸 也
堺創志会	木 畑 匡
自由民主党堺市議会議員団	山 口 典 子
日本共産党堺市議会議員団	藤 本 幸 子
自由民主党・市民クラブ	白 江 米 一
会派に属さない議員	長谷川 俊 英

2. 今年度の協議項目及び年間スケジュールについて（資料1 参照）

今年度、議会力向上会議で協議すべき案件と年間スケジュールについて、正副座長案が示された。

また、前回の会議において堺創志会から提案のあった政務活動費に関し交付額の見直しや挙証資料
の必要性の検討について、協議項目とするか否か各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大 阪 維 新 の 会 堺 市 議 会 議 員 団	○協議項目とすることよい。 ○どのようなスケジュールで協議を行うのか、その費用（議会費）の上 昇見込みなど、今後検討していただきたい。
------------------------------	---

公 明 党 堺 市 議 団	○協議項目としない。
堺 創 志 会	○政務活動費について、運用指針が策定された当時と比較し、最低賃金が３３％、郵便料金が３４％から４５％、紙代が直近３年間で４０％から６０％、ガソリン代は２０％、宿泊代は直近５年間で５０％以上上昇している。 ○本市の一般会計当初予算では、平成２７年度は約３，７００億円であったが、令和７年度は約４，８００億円となっている。 ○一方、議会費では、平成２７年度が約１３億円、令和７年度が約１２億円となっており、議会費の削減に取り組んできた。 ○政務活動費は議員の活動を支える重要な要素であり、現在の物価高騰等を踏まえれば活動が制限されることが考えられることから、交付額の見直しについて検討する必要があると考える。
自 由 民 主 党 堺 市 議 会 議 員 団	○協議項目とすることによい。 ○政務活動費返還請求に係る住民訴訟について、当局より詳細の説明を受けたいと考える。
日 本 共 産 党 堺 市 議 会 議 員 団	○協議項目とすることによい。
自 由 民 主 党 ・ 市 民 ク ラ ブ	○協議項目とすることによい。
長谷川俊英議員	○協議項目とすることによい。

【座長の意見】

政務活動費の交付額見直し等については、実際に物価が高騰していることから検討する必要があるが、関係条例の改正を行うに当たり、各会派等の合意形成を図る必要があることから、本日は協議項目とすることを確認するものとし、堺創志会の提案内容について各会派等に持ち帰り、十分検討していただきたい。

【協議結果】

正副座長案を了承し、合意されたスケジュール案で進行することとした。

なお、政務活動費については、協議項目とすることとし、堺創志会の提案内容について各会派等に持ち帰り、次回の会議で引き続き協議することとなった。

3. 議会報告会について（資料２・３ 参照）

本件について、座長より、次のとおり説明を行い、各会派等の意向を聴取した。

【座長の説明】

○前回の会議において合意された内容に基づき、前議会４役においてまとめた開催概要（案）（資料２）のとおりに実施することが、５月９日の議会運営委員会において決定した。

- その他の詳細な項目（参加対象者等）については、各会派等に持ち帰り、本日の会議で協議することとしていた。なお、議会報告会開催までのスケジュール（資料３）については、昨年度のスケジュールを参考に整理を行った。
- 今後のスケジュールについては、８月定例会までに開催概要をまとめ、８月定例会の初日議会運営委員会（８月１４日）において決定する必要がある。
- 昨年度と同様に各区に４テーブルを設置することについて、美原区においては人口比等の観点から４テーブルでよいのか検討する必要がある。

【各会派等より出された主な意見】

大 阪 維 新 の 会 堺 市 議 会 議 員 団	○美原区については、美原区選出議員が参加者の募集案内について努力する必要はあるが、人口比の問題もあり、他区と同じ募集人数とするのか検討が必要と考える。 ○参加者募集について、当初から各議員が募集案内する目標人数等を決めておくべきではないかと考える。 ○昨年度と同様に参加者は子育て世代を優先するほうがよいと考える。
公 明 党 堺 市 議 団	○昨年度の意見交換テーマについて、よかったと考えており、今年度も同様でよいと考える。 ○昨年度、区役所で開催したが、参加者からは参加しやすいと意見をいただいた。
堺 創 志 会	○意見交換テーマについて、本市の課題であるため、昨年度と同様に子育てを中心でよいと考える。 ○参加者募集について、各議員が必ず１人募集案内するなど目標を早期に決めたほうがよい。
自 由 民 主 党 堺 市 議 会 議 員 団	○昨年度の状況では、開催区選出議員数の多さで参加者が集まったものではない。議員全員が何のために議会報告会を開催するのか原点に立ち返り、多くの方に参加いただけるよう努力すべきである。 ○意見交換の場は参加者が公平に発言できるようファシリテーターは特に配慮する必要がある。 ○開催時間について、昨年度は午後１時からとし、午前中から準備を行ったが、結果的に時間に余裕があったことから、今年度は午後２時からとし、午後１時から準備を開始することでよいと考える。 ○意見交換テーマについて、文言の表現については様々な事情に配慮していただきたい。
自 由 民 主 党 ・ 市 民 ク ラ ブ	○参加者は多いほうがよいと考えるが、美原区で４テーブル分の参加者募集を行うには美原区選出以外の議員の協力が必要と考える。 ○美原区選出議員のみで４テーブル分の募集案内は難しいと考える。
長谷川俊英議員	○意見交換テーマについて、若者に絞るのではなく、広く市民の政治参画を含んだ文言にしていきたい。 ○昨年度、北区役所に当初議会報告会のポスター掲示がなかったため、今回は開催区役所に掲示するよう依頼していただきたい。

【協議結果】

本件については、以下のとおりとすることを合意した。

- ・開催日時：11月22日（土）午後2時から
- ・対象者・テーマ：昨年度の内容及び本日の各会派等の意見を踏まえ、4役において調整する。
- ・定員数：各区20名程度
- ・申込締切日：11月12日（水）
- ・託児利用可
- ・テーブル数：各区4テーブル（美原区は状況に応じた対応とする。）
- ・傍聴席：各区10席（当日は傍聴者数に応じ、会場責任者において調整する。）
- ・構成：第1部 議会報告（映像視聴による報告形式）
第2部 意見交換
- ・チラシ：3区共通

また、議会報告会開催までのスケジュール（資料3）について確認した。

決定した内容でワーキンググループにおいて役割分担等の詳細をとりまとめ、4役において議会報告会開催概要（案）を整理し、次回の会議で協議することとなった。

4. 第78回議会力向上会議の開催日時について

本件については、令和7年7月28日（月）午前10時から開催することとした。